

## 平成30年度2学期終業式 校長講話 『励まし 賞賛 感謝』

2学期、みんなにはどんな『励まし 賞賛 感謝』があったかを振り返ってみましょう。

1年生と6年生との焼き芋。これは、仲よし読書です。

1年生の図工の授業です。お城のような大きなお家ができのですが、崩れてこわれてしまいました。そしたらね、その人を責めるのではなくて、・・・「だいじょうぶ。また作ればいいよ。」1年生のマラソン大会では「頑張れー」と大きな声で応援していました。応援の気持ちが伝わってきます。

2年生が計画した秋祭りでは、1年生が遊びにきました。心配そうな1年生に「入るよ」と声をかけています。2年生のマラソン大会では立って応援している人が、手を口に当てて、「いけー、頑張れー」と言っていました。

3年生が保育園と交流しました。優しく教えてあげていました。3年生の体育の発表会でも、拍手と「よかったよ」の言葉に温かさが感じられました。虫かご作りでも。お互いの良さを認め合っていました。

4年生のマラソン大会。右端の2人が特に大きな声で応援してくれていました。4年生は、おやきづくりを地域の方に教えてもらいました。小麦粉をこねたり、野菜をきざんだりしましたが、互いにやさしく声をかけて励ましていました。

5年生の算数のグループ学習では、意見を発表したり、お互いの良いところを出し合ったりしていました。理科の授業では、やり方を教えてあげ、「大丈夫」と声をかけています。

6年生と1年生との焼き芋では、6年生のやさしさが伝わってきました。

美化委員さん、花の仕事を一緒にやってくださったボランティアさんへのありがとうのハイタッチです。ボランティアさん嬉しそうです。



次は、校長先生が今でも覚えている、励まされた思い出です。

屋代中学3年生の夏でした。先生はソフトテニス部に入っていました。これはチームの人と一緒に撮った写真です。これが校長先生です。このころ先生は、クラスで一番小さくて、152cmでした。先生はS君（S君は170cmの長身でした）というお友だちとペアを組んでいました。

先生とS君は、地区大会を勝ち抜いて、長野県の1位のペアを決める県大会に参加できることになりました。でも屋代中学校からは、先生とS君のペアが一つだけでした。

県大会の朝になりました。その朝は、S君と2人で、学校のコートで2人だけの限られた練習しかできないと思っていました。ところが、何人もチームメイトが練習に来てくれたのです。朝5時です。遠い人は学校から4キロも離れた家からです。その中には、レギュラーになれなかった人、先生たちより強いはずなのに地区大会で負けてくやしい思いをした人もいました。

その人たちのお陰で試合と同じような練習をすることができました。1時間練習して、みんなに見送られながら、顧問の先生の車に乗って諏訪市で行われた大会に行きました。

練習に来てくれた人たちは、一緒に練習することで、「頑張れ」「大丈夫。自身持ってやれ」と励ましてくれました。校長先生はこの時「仲間のために勝ちたい」と強く思いました。1位にはなれなかったけれど、たくさん勝つことができ、さらに上の大会に出られることになりました。

今から45年も前の話です。よく覚えていると思いませんか。励まされた経験は温かい思い出として一生心に残ることもあるのです。

戸倉小学校では、2学期たくさんの「励まし」「賞賛」「感謝」があったことを嬉しく思います。3学期も「励まし」「賞賛」「感謝」が溢れる戸倉小学校にしましょう。

2学期の皆さんの図書館利用はどうだったでしょうか？ひとり平均65冊の貸し出しがあったそうで、全体では、19283冊です。

最後に、休み中に気をつけて欲しいこととお話しします。「交通事故」「けが」「病気」に十分気を付けて1月9日に元気にあいましょう。

